

7年10月22日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 原 源次

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	総務経済常任委員会
研修・視察実施場所	岐阜県飛騨・庄川温泉 桜香の湯・信州高森温泉御大の館
研修・視察の期間	7年9月30日～ 7年10月1日
研修・視察の成果等	◎ひだ庄川温泉 桜香の湯 (株)井上工務店 森本・佐々木氏より桜香の湯に設置されている、木質バイオマスによる湯熱供給事業について説明を受ける。 木質ボイラー4基。プロポーサルで井上工務店が導入、製材等の過程で発生する端材を燃料として利用、熱代金として税抜7,8円／kWhで桜香の湯施設に販売20年の契約を締結している。灯油ボイラー併用している。チップ格納庫は地下、故障も少なく焼却灰も土地還元がされている。 井上工務店。チッパー機、サイロ見学 実際にチップを供給されている。地元産材を利用して自然エネルギーとして利用。 製材端材を熱利用だけでなく発電などを行い脱炭素先行地域事業を行っている。 しんしゅう高森温泉御大の湯 役場担当より説明を受ける。木質バイオボイラー2基導入。チップは購入完全乾燥しておらずボイラーは故障ぎみである。灯油ボイラー併設。 2件のバイオマスボイラーを視察したが材料の有効活用・温室効果ガス削減などの利点もあるが材料の供給、機種選定など導入について充分慎重にいかなければと思った。

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。